

# 市川先生の思い出



市川先生

我々の入学時、新任市川先生の髪型はパンチ風。少しビビったものだ。しかし、サッカーの実力にはもっと驚かされた。

天皇杯決勝トーナメントで全日本選手とも対等に戦われた程。結局6年間、誰も手も足も出なかった。

39期 光本 剛

我々40期生は、中1から体育を担当して頂き、まるまる六年間お世話して頂きました。当時は先生も大学を卒業されて間もないころで、未だ幼い我々と共に走り、ボールを蹴り、そして大声で笑ったり、取っ組み合ってじゃれたりして呉れたものです。私はゴールキーパーをしておりましたので、練習となると、同期の同ポジションのライバル、小野君や一期下の新美君と一緒にボールを何本も蹴ってもらったり、体をぶつけ合って、せり合いの練習など、汗、泥まみれで、市先に付き合ってもらったことも今は遠い良き思い出です。

甘えん坊の多かった40期が、頑張っけて県大会優勝を経験できたのも、厳格な父である佃先生はもとより、優しく頼り甲斐のある兄貴分としての市先が存在があったからこそと思います。高校卒業して10年（そう、スペイン大会の次の年が卒業だった）が過ぎ、日本はサッカーブーム。私は太った一児の父親。青春時代に、サッカーの魅力を教えて呉れた先生方に感謝して止みません。これからも元気に生徒たちとプレイされる事を願いつつ。

40期 新田 耕市

市川先生と私との出会いは、中1 C組の教室でした。市川先生はこのクラスの副担任をされていたのですが、まさかこのクラス出身者が送別試合にでた42期のメンバーの大半を占めるとは、その当時も、そして今も想像だにされなかったでしょう。市川先生はサッカー選手として、常に私達の目標となる活躍をされていましたが（兵庫教員時代の国体出場等は当時中学生だった私達にとって大きな刺激になりました）、先生としては時々私達を大笑いさせてくださいました。忘れもしません高2の春、御影高校での試合に出かけていった私達は、野球部らしき生徒のトンボをかけている姿を見て不安を感じました。

「今日サッカーの試合があるはずなんですけど……」

「今日はそんな予定は聞いてませんよ」

そんな所にラッタッタに乗ってやってきた市川先生にかくかくしかじかと伝えたとこ、

「ちょっと待っとけ。調べて来るわ」

戻ってこられると、「スマンスマン。来週やったわ」

そんな市川先生を、僕達は大好きでした。これからも変わらぬファイトとユニークさで頑張ってください。

42期 松下 治正

いちせんはとてもナイスガイです。昔ユーノスロドスター(青、オープンカー)に乗っていました。

授業でサッカーのゲームをやるときは、いつも人数の少ないチームに入ってナイスなプレーを披露してくれます。でもボールをとられるとすごいスピードでお

いかけできます。

いちせんはおしゃれです。友達が、若者達の集う三宮高架下の店でいちせんが服を選んでいるのをみかけたそうです。そんないちせんが私は好きです。

50期 山下 太郎

